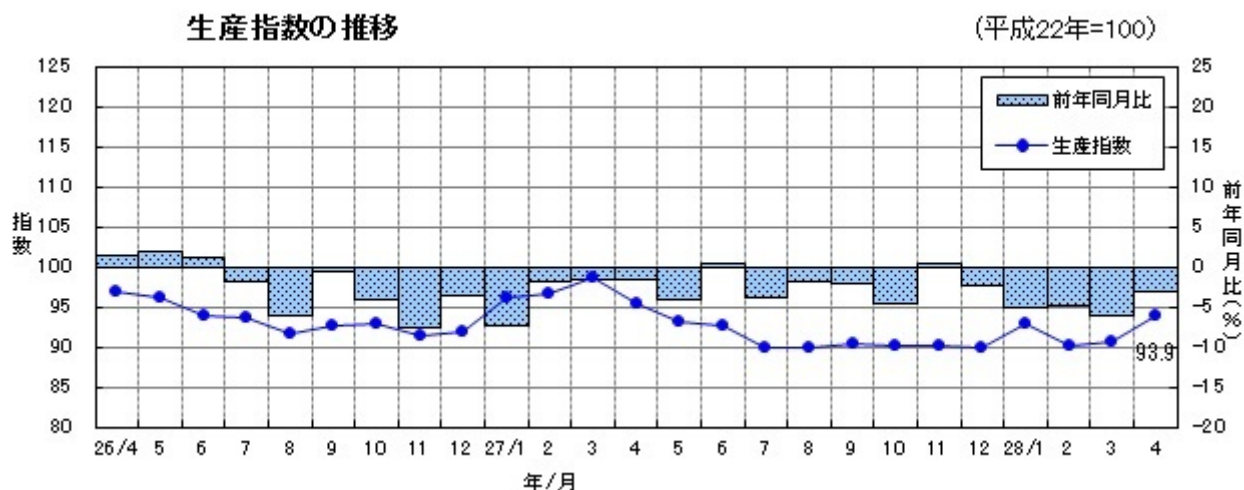


## 1 生産指数の動き

平成28年4月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は**93.9**となり、**前月比は3.5%増と2か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は3.0%減と5か月連続して前年を下回**った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、電気機械等が上昇する一方、食料品・たばこ、化学、繊維等が低下した。

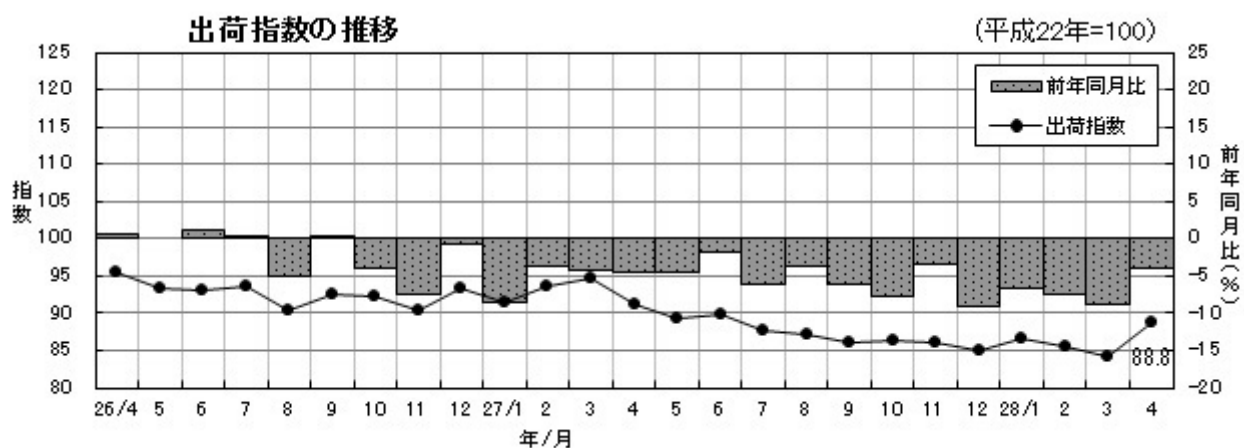


## 2 出荷指数の動き

平成28年4月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は**88.8**となり、**前月比は5.3%増と3か月ぶりに上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は3.9%減と19か月連続して前年を下回**った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、その他製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、化学、非鉄金属等が低下した。

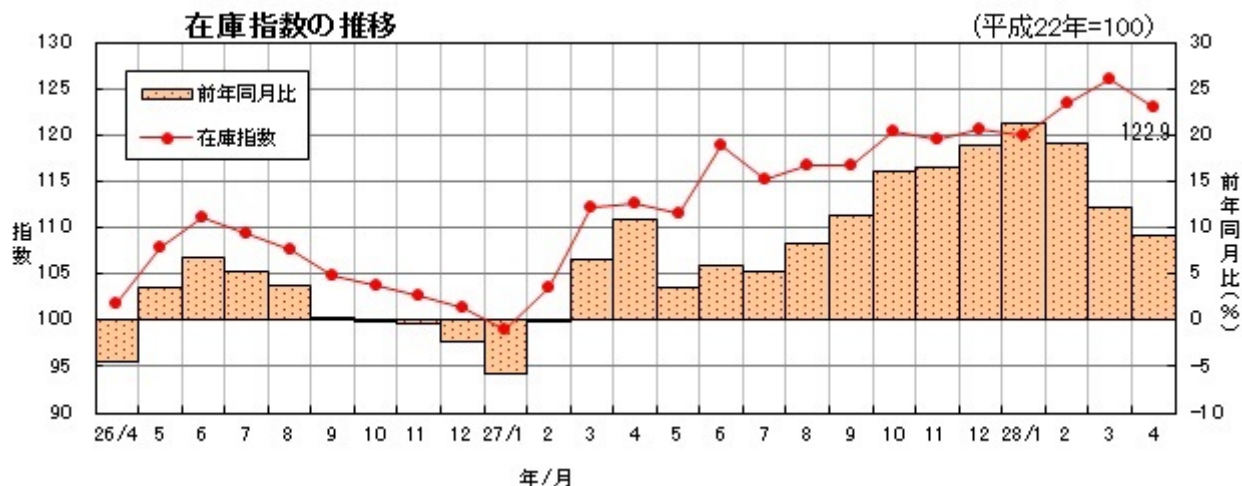


### 3 在庫指数の動き

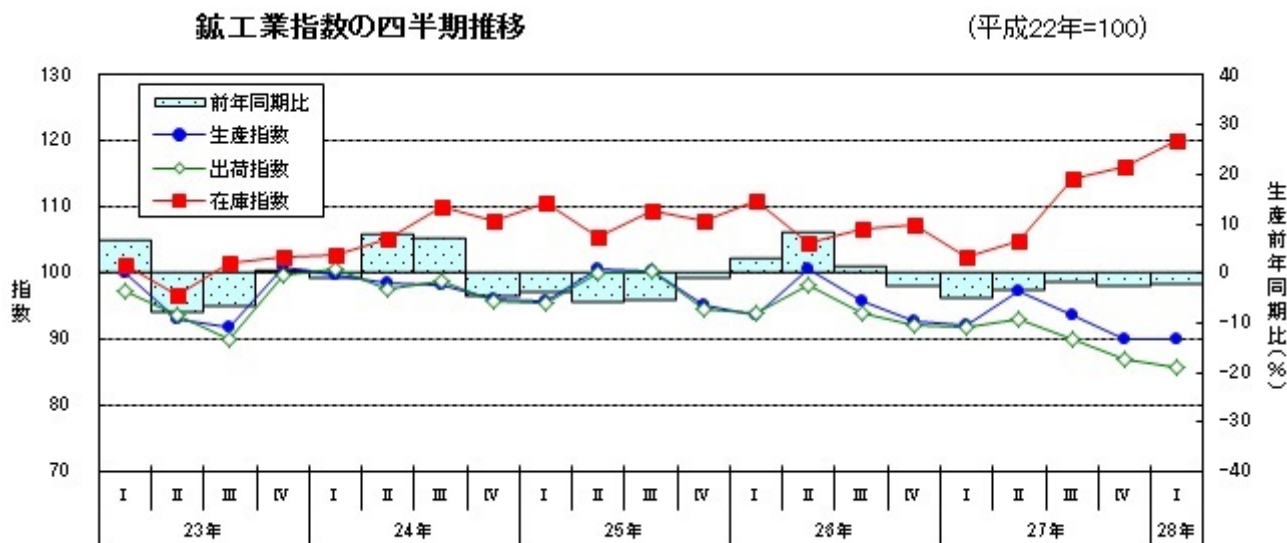
平成28年4月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**122.9**となり、前月比は**2.4%減**と3か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は**9.1%増**と14か月連続して前年を上回った。

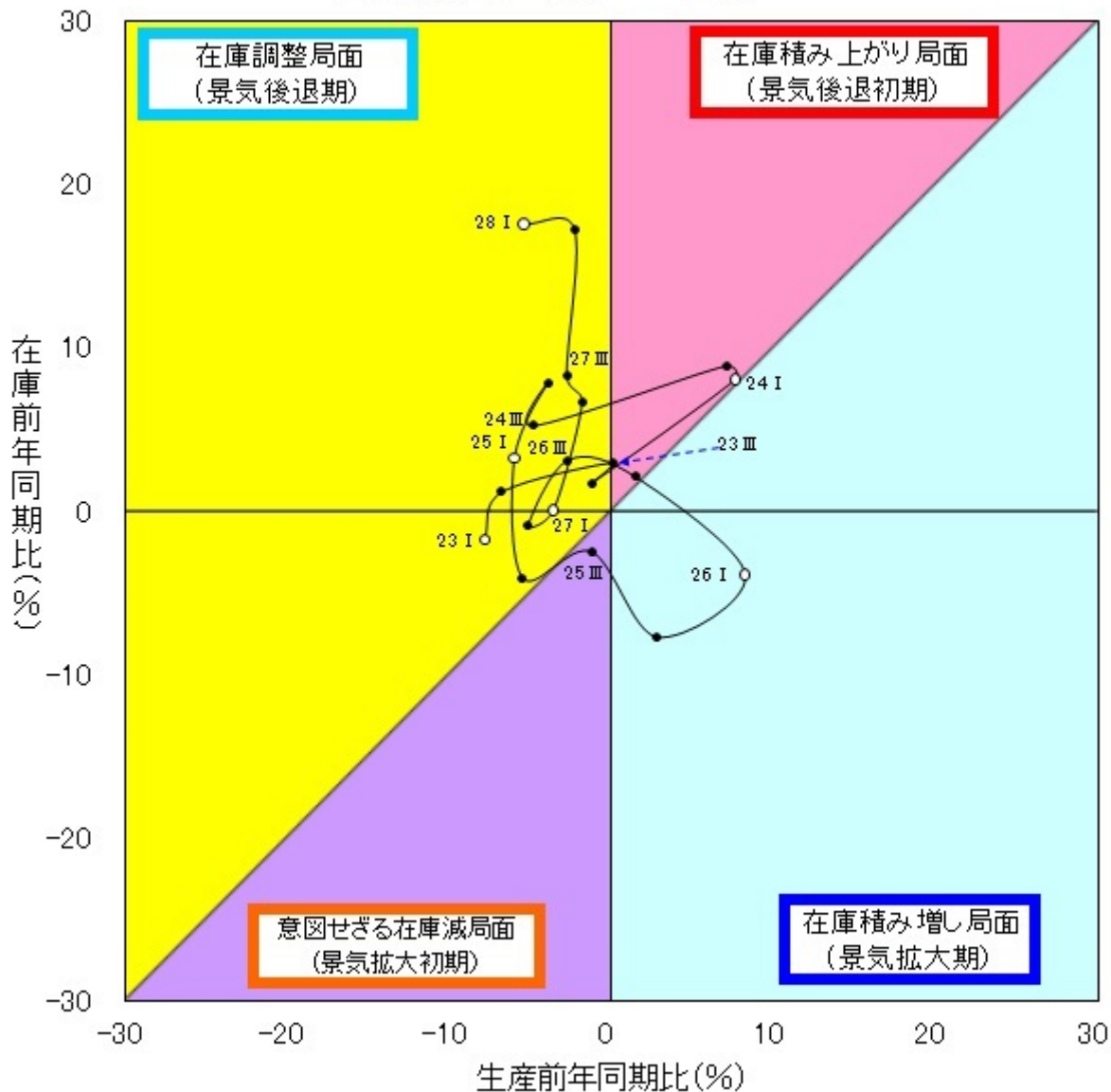
業種別の前月比（季節調整済指数）では、窯業・土石製品、はん用・生産用・業務用機械、家具等が上昇する一方、輸送機械、化学、パルプ・紙・紙加工品等が低下した。



#### <参考1> 四半期推移及び在庫循環図



在庫循環図(四半期ごとの推移)



- 在庫積み増し局面 (景気拡大期)**  
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**  
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- 在庫調整局面 (景気後退期)**  
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**  
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。